S-Stage KIT 取扱説明書

ノーマル９７ｃｃのシリンダーヘッドを使用したままで１１１ｃｃにボアアップができ、ＨＥＡＶＹなエンジンフィーリングが体験できるキットをＮＥＷリリース。楽しみながらエンジン構造の勉強が出来るストリートユースキットに仕上げました。

商品番号　　01-05-506 G-KIT
適合車種およびフレーム号機
　カブ１００ＥＸ：(C100CMJ)HA05-00000037～0002036
　　：(C100CMK)HA05-00000037～
　　：(C100CMP)HA06-00000001～
※以下の車両はクランクケースのボーリング加工が必要です。
　カブ９０　　：HA02-1800001～
　ＣＤ９０　　：HA03-1100005～

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

⚠使用燃料についてのご注意⚠

ＳステージＫＩＴは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。ＫＩＴ取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

⚠ スパークプラグについてのご注意 ⚠

スパークプラグは必ずＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換し、スパークプラグ電極部の焼け具合により個々に合った番数を決定して下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎ボルト、ナット、ノックピンは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎ノーマルキャブレターを装着される方は、エアクリーナーボックスおよび、エアークリーナーエレメントは取り外さないで下さい。キャブレターを交換される方は、個々に合ったセッティングを行って下さい。この事柄を無視した場合、エンジントラブルが起こり、重大な事故につながる恐れがあります。
◎燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。
◎セルモーター始動による車両につきましては、バッテリーが満充電の場合でもセル始動が困難になる場合があります。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

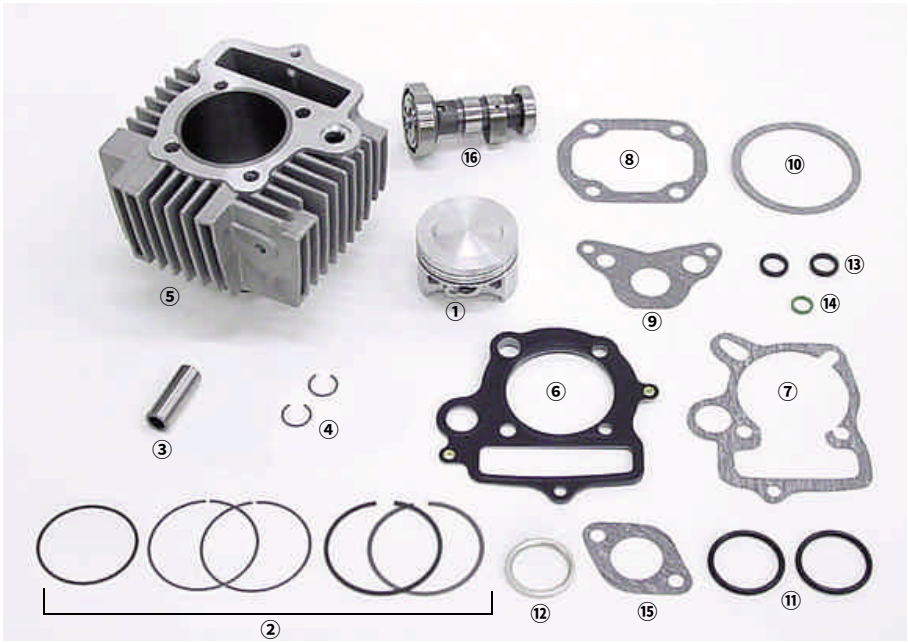
・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

Mar 15' 01

◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。
◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますよう、お願い致します。

Lesson

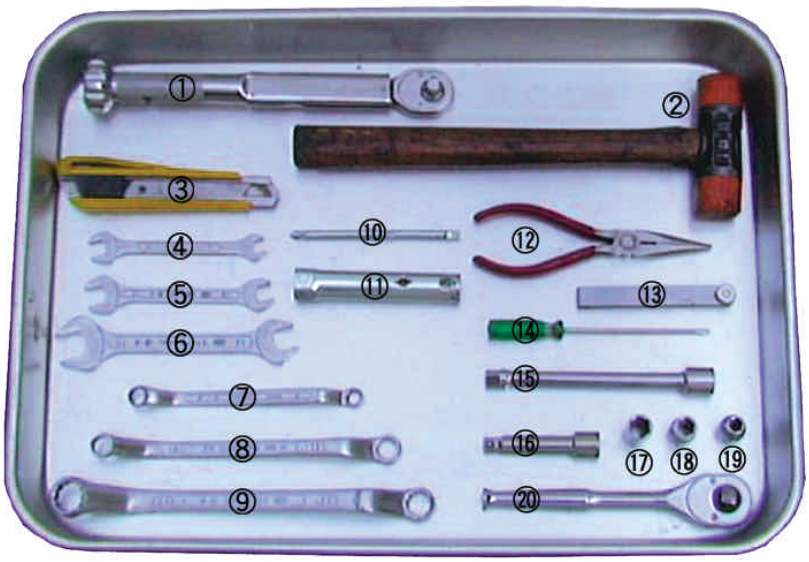
◇ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まる。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず指で締まるところまで締めましょう。１～２回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から左へ３～４回転回すことをいい、取り外すということは左へネジが取れるまで回すことをいう。
◇ネジを締めるということは、ネジが緩まないようにする事を締めるといいます。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのがトルクレンチです。この説明書ではＰＬ法（製造物責任法）によりトルクを記載していますが、トルクレンチを用意することの出来ない人は折れない・緩まない力で締められるのであれば試してみて下さい。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。



◇キット内容

NO.	Ｄｅｓｃｒｉｐｔｉｏｎ	ＱＴＹ
1	ピストン	1
2	ピストンリング	1SET
3	ピストンピン	1
4	ピストンサークリップ	2
5	シリンダー	1
6	ヘッドガスケット	1
7	シリンダーベースガスケット	1
8	ヘッドカバーガスケット	1
9	右サイドカバーガスケット	1
10	左サイドカバーガスケット	1
11	タペットキャップＯリング	2
12	マフラーガスケット	1
13	ＯリングーＡ（ブラック）	2
14	ＯリングーＢ（グリーン）	1
15	インレットパイプガスケット	1
16	カムシャフト	1

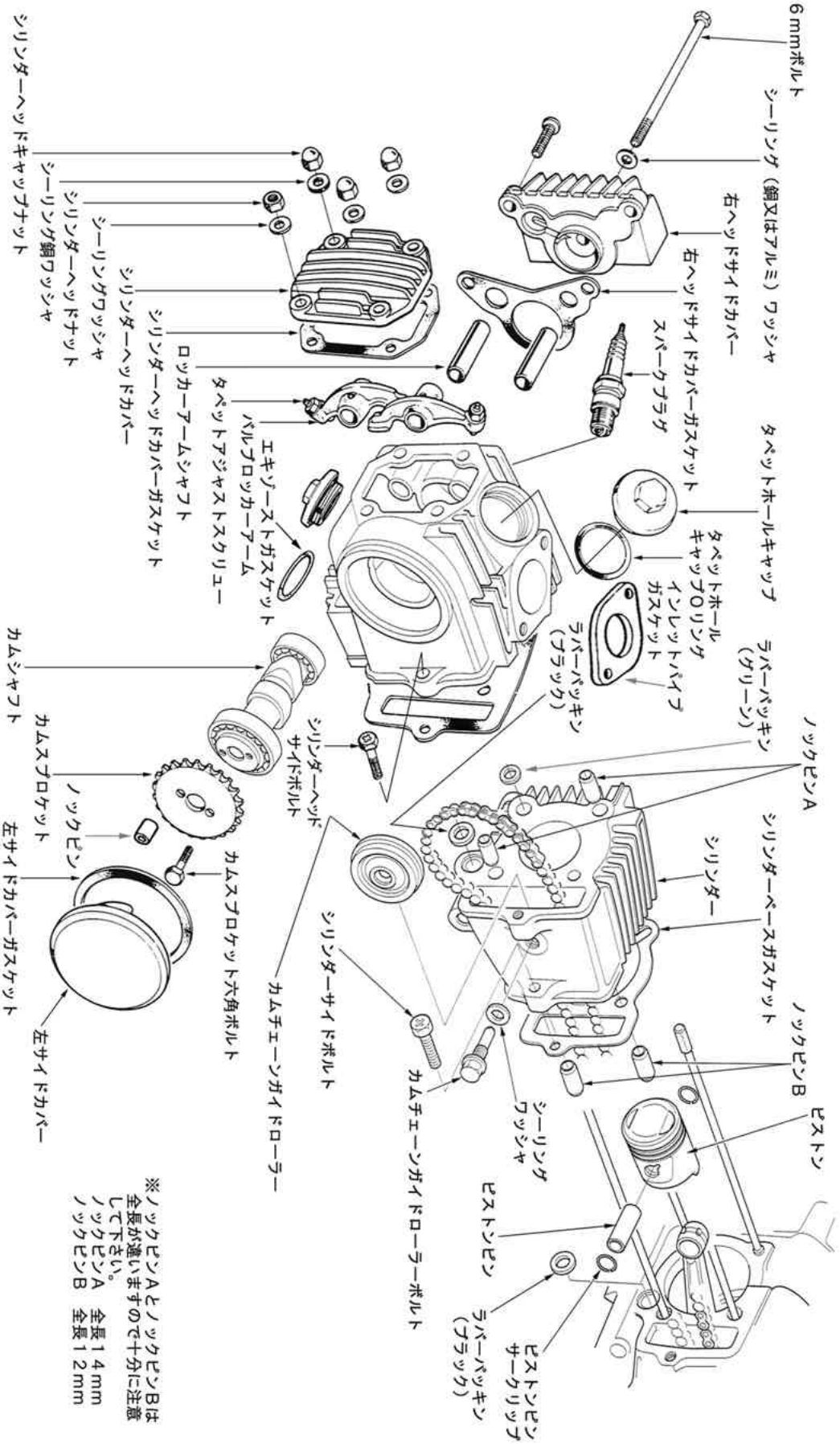
◇取り付けに使用する工具等



1	トルクレンチ
2	プラスチックハンマー
3	カッターナイフ
4	スパナ　１０－１２
5	スパナ　１２－１４
6	スパナ　１４－１７
7	メガネレンチ　１０－１２
8	メガネレンチ　１２－１４
9	メガネレンチ　１４－１７
10	プラグレンチハンドル　（車載工具）
11	プラグレンチ　（車載工具）
12	ラジオペンチ
13	シクネスゲージ
14	マイナスドライバー　（極細先）
15	ジョイント　（中）
16	ジョイント　（小）
17	ボックスレンチ　１４mm
18	ボックスレンチ　１２mm
19	ボックスレンチ　１０mm
20	ラチェットレンチ

Mar 15‘ 01

ノーマル部品各部名称



※ノックピンAとノックピンBは
全長が違いますので十分に注意
して下さい。
ノックピンA　全長14mm
ノックピンB　全長12mm

～取り付け要領～

◇水平な場所でセンタースタンドで車両を確実に支えます。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。

◇フューエルコックをＯＦＦにします。

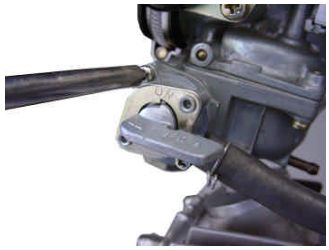
○取り外し

★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していくようにして下さい。
★取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管して下さい。

１．カバー類の取り外し

◇カバー、左右のサイドカバーとフロントカバーを取り外します。

２．キャブレターの取り外し



◇コックの２個のボルトをゆるめ、取り外します。
使用工具 プラスドライバー小

◇Ｏリングも取り外しておきます。

◇ボルトをゆるめ、チョークケーブルを取り外します。
使用工具 プラスドライバー小

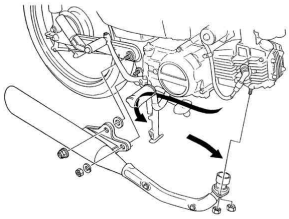
◇エアクリーナーＢＯＸの左右のボルトをゆるめ、取り外します。
使用工具 １０mmメガネレンチ

◇マニホールドの２本のボルトをゆるめ、取り外します。
使用工具 ８mmメガネレンチ

◇スロットルケーブルは外さずにエアクリーナーＢＯＸ、キャブレター、マニホールドごとフロントキャリアに置いておきます。

３．マフラーの取り外し

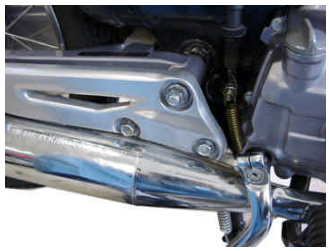
◎Ｃ１００ＣＭＪ、Ｃ１００ＣＭＫの場合



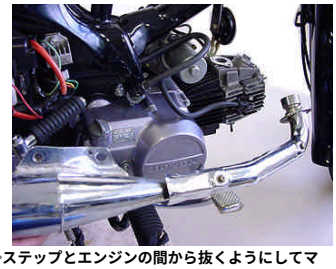
◇シリンダーヘッド側２個のナット、サイレンサー部のナット２個を取り外します。
使用工具
シリンダーヘッド部：10㎜ スパナレンチ
サイレンサー部　　：17㎜ メガネレンチ
14㎜ メガネレンチ
◇ステップとエンジンの間から抜くようにしてマフラーを取り外します。

◎Ｃ１００ＣＰＭの場合

◇シリンダーヘッド側のナット２個を取り外します。
使用工具 １０㎜ スパナレンチ



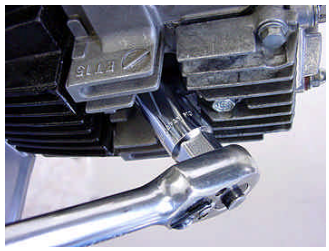
◇ナット１個、ボルト２本を取り外して、右のタンデムステップブラケットを取り外します。
使用工具 １４mmＢＯＸレンチ
１２mmＢＯＸレンチ
ラチェットレンチ



◇ステップとエンジンの間から抜くようにしてマフラーを取り外します。

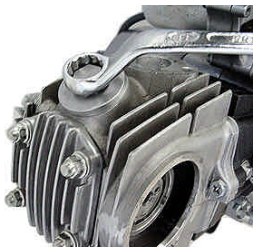
４．スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張って外します。必ずキャップ部分を持って引っ張って下さい。



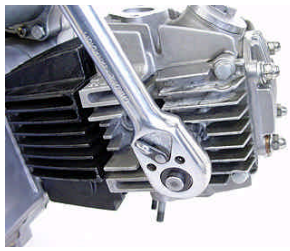
◇スパークプラグを取り外します。
使用工具 １６mmＢＯＸプラグレンチ
ラチェットレンチ

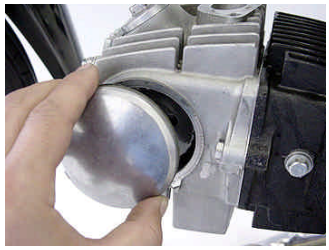
５．タペットホールキャップの取り外し



◇タペットホールキャップ２個を取り外します。
使用工具 １７㎜ メガネレンチ

６．シリンダーヘッド左カバーの取り外し

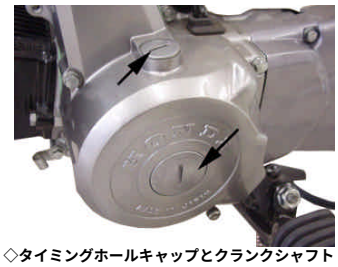




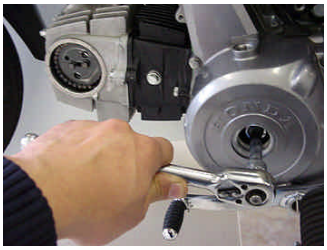
◇シリンダーヘッド右カバー中央のボルトを外すと左カバーが外れます。
使用工具 １０㎜ ＢＯＸレンチ
ラチェットレンチ

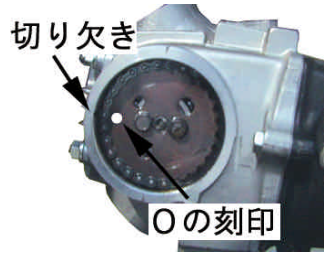
＊外れない場合はボルトを２～３回転ねじ込んで、そのボルトの頭をプラスチックハンマーで軽くたたくと外れます。

７．カムスプロケットの取り外し

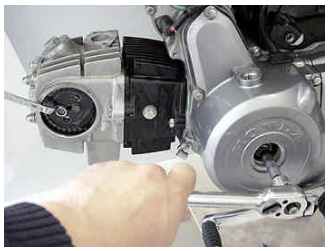


◇タイミングホールキャップとクランクシャフトホールキャップを取り外します。
使用工具 マイナスドライバー





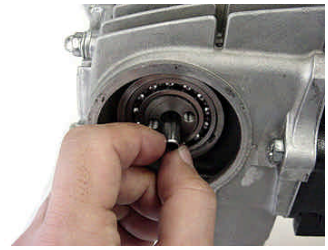
◇クランクシャフトを反時計方向に回して、フライホイールの“Ｔ”マークとカムスプロケットの“Ｏ”マークをそれぞれの切り欠きに合わせます。
使用工具 １４mmＢＯＸレンチ
エクステンションバー小
ラチェットレンチ



◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの六角ボルト２本を取り外します。
使用工具 8mmメガネレンチ
１４mmＢＯＸレンチ
エクステンションバー小
ラチェットレンチ

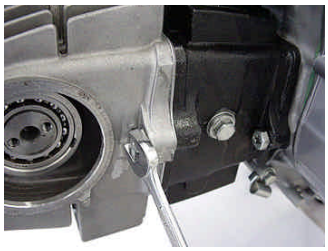
◇カムスプロケットを先の細いマイナスドライバー等でこじてカムシャフトから外します。

◇カムチェーンからカムスプロケットを外し、カムスプロケットを取り出します。

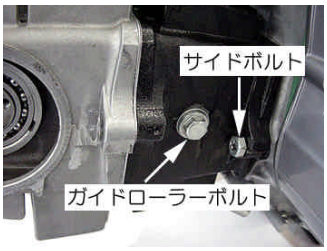


◇カムシャフトにはまっているノックピンは再使用するので取り外しておきます。

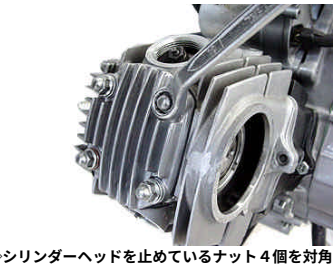
８．シリンダーヘッドの取り外し



◇シリンダーヘッドサイドボルトを取り外す。
使用工具 １０㎜スパナレンチ



◇ガイドローラーボルトと、サイドボルトをゆるめておきます。
使用工具 １０㎜スパナレンチ
１０㎜メガネレンチ

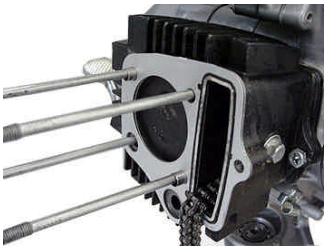


◇シリンダーヘッドを止めているナット４個を対角にゆるめて取り外します。
使用工具 １０㎜メガネレンチ

◇ナット下のワッシャー４枚を取り外します。

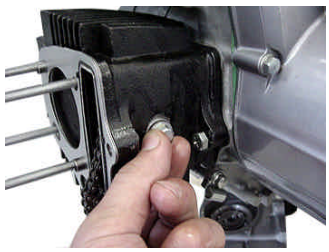
◇ヘッドカバーを取り外します（かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外します。）

◇シリンダーヘッドを引っ張って取り外します。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーヘッドを軽くたたき、取り外します。)

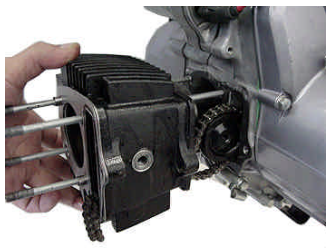


◇ノックピン２個は、再使用するので取り外しておきます。

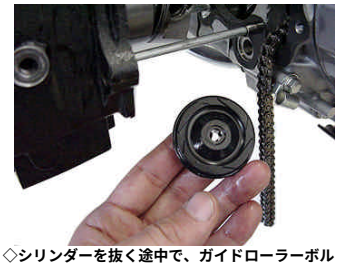
９．シリンダーの取り外し



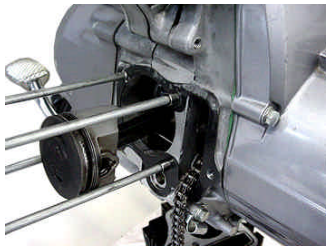
◇ゆるめておいたガイドローラーボルトとシーリングワッシャー、サイドボルトを取り外します。



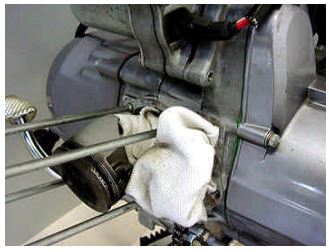
◇シリンダーを引っ張って取り外します。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)



◇シリンダーを抜く途中で、ガイドローラーボルトが出てくるので、取っておきます。



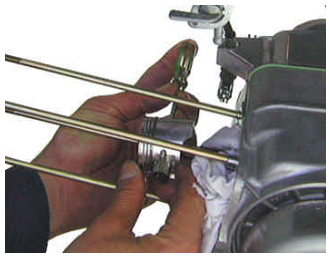
◇シリンダーガスケットやラバーパッキンを取り除きます。ノックピン２個は、再使用するので取り外しておきます。



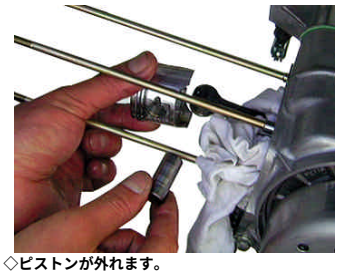
◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。

１０．ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外します。
＊ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。
使用工具 先の細いマイナスドライバー

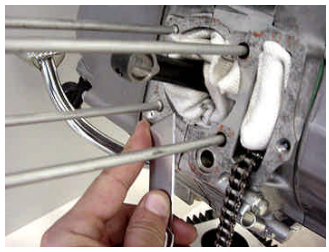


◇ピストンピンをサークリップを取り外した方へドライバー等で押して外します。

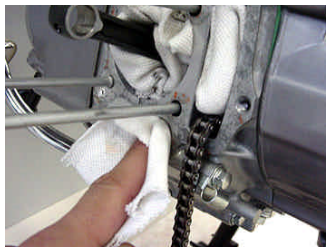


◇ピストンが外れます。

１１．取り付け面をきれいにする



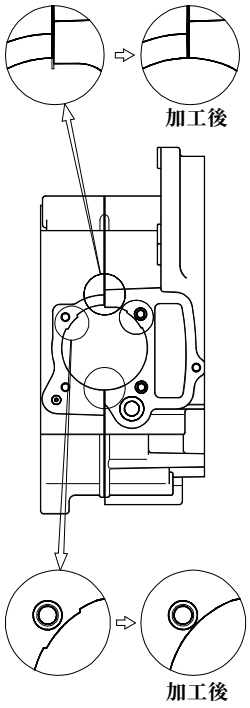
◇ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意して下さい。



◇ウエスできれいに拭き取ります。

クランクケースの加工

◎シリンダーを取り付けるには、クランクケースの加工が必要となります。
◎加工個所はシリンダースリーブがクランクケースに干渉する所で、主に○印の部分になります。



加　工　要　領

１．クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰めます。
２．クランクケース合わせ面のズレを同じ高さになるように削ります。
スタッドボルトねじ穴付近の出っ張りを周囲と同じ高さになるように削ります。
シリンダースリーブが入るところを指で触ってみて、引っかかるところは削って下さい。
３．削り取ったら削り粉がクランクケース内に入らないよう慎重にウエスを取り除きます。
４．ノックピンをはめ、シリンダーを取り付けてみます。すっと入るようになるまで、干渉部分を削って下さい。
５．ウエスを取り除いた後は、きれいなウエスをクランクケースの穴に詰めて下さい。
６．キットの組立が終わってエンジンをアイドリングで数分かけた後、すぐにエンジンオイルを新品に交換すればＯＫ。

○Ｓ－ＳｔａｇｅＫＩＴ取り付け

１．ピストンを組み付ける

◇ピストンの左側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
＊ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。
＊ドライバーで、押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。
＊ピストンにキズを付けないで下さい。
使用工具 先の細いマイナスドライバー

◇ピストンのリング溝にエンジンオイルを塗布します。

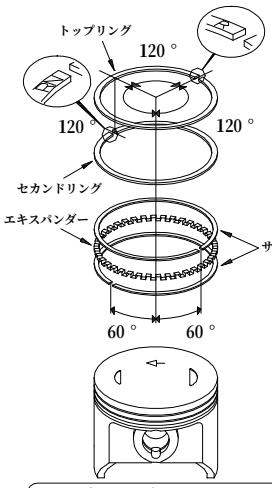
◇オイルリングエキスパンダーを入れる。

◇下オイルリングサイドレールを入れる。

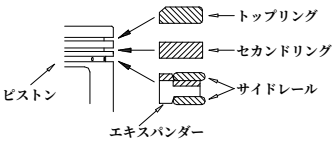
◇上オイルリングサイドレールを入れる。

◇セカンドリングを入れる。

◇トップリングを入れる。

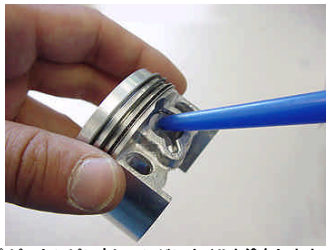


トップリングの上面にはＲの刻印セカンドリングの上面にはＲＮの刻印があります。



断面に注意！！

◇上図を参考にして、各ピストンリングの位置を合わして下さい。

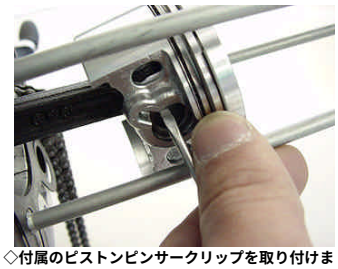


◇ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。

◇付属のピストンピンとコンロッドにエンジンオイルを塗布します。

Mar 15‘ 01

◇ピストンの上面の矢印が、下（エキゾースト側）を向くように、ピストンを取り付けます。

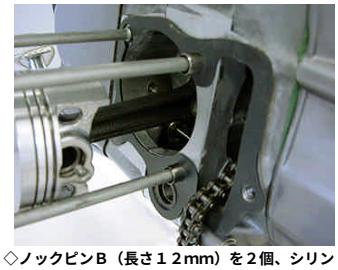


◇付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
＊ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。
＊ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。
＊押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。

２．シリンダーを取り付ける。

◇詰めていたウエスを取り外します。

◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。

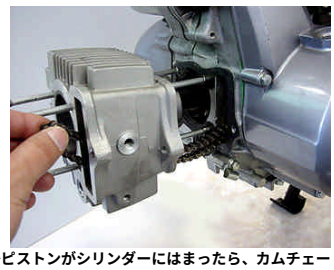


◇ノックピンＢ（長さ１２mm）を２個、シリンダーガスケット、ラバーパッキン黒１個を取り付けます。

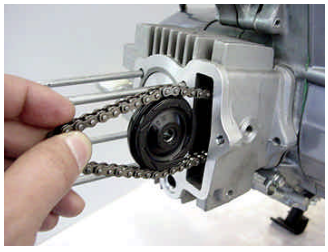
◇キットのシリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。

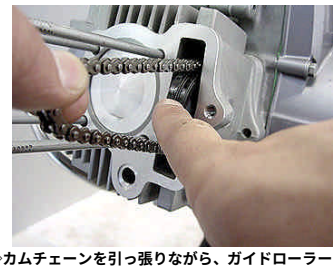
◇シリンダーを入れていきます。

◇シリンダーにピストンリングの合い口がずれないように指で少しずつはめていきます。

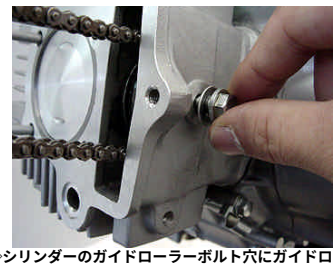


◇ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。

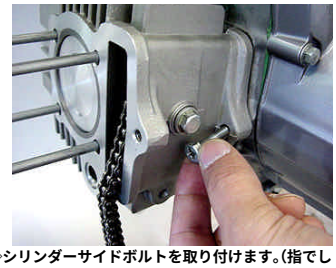




◇カムチェーンを引っ張りながら、ガイドローラーを付けます。

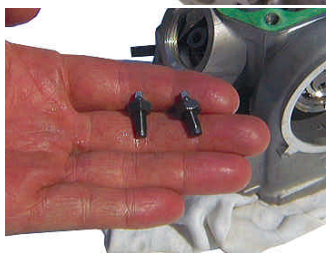


◇シリンダーのガイドローラーボルト穴にガイドローラーの穴が合うようにしてガイドローラーボルトを取り付けます。（指でしまる程度まで仮止め）



◇シリンダーサイドボルトを取り付けます。(指でしまる程度まで仮止め)

３．カムシャフトの交換

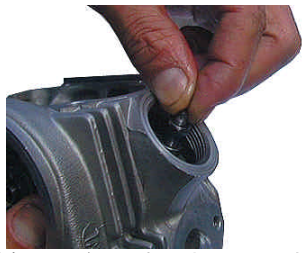


◇シリンダーヘッドに組み込まれているロッカーアームのタペットナットをゆるめ、タペットスクリューと共に外します。
使用工具　９㎜メガネレンチ

◇カムシャフトにカムスプロケットボルトを取り付けて引っ張るか、プラスチックハンマーでシリンダーヘッドを軽くたたくとカムシャフトは抜けます。
＊無理に引っ張らないで下さい。

◇キットのカムシャフトにエンジンオイルを塗布します。
◇カムシャフトを逆の手順で取り付けます。

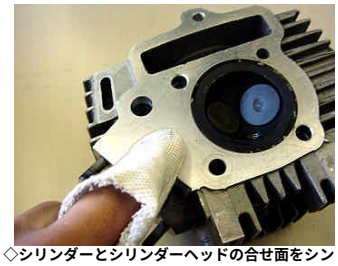
◇ノーマルカムシャフトのノックピンをキットのカムシャフトに取り付けます。



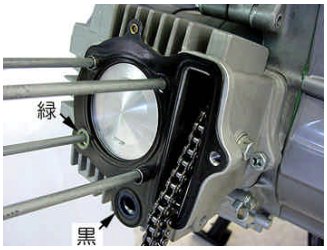
◇タペットスクリューをロッカーアームに取り付けます。

４．シリンダーヘッドの取り付け

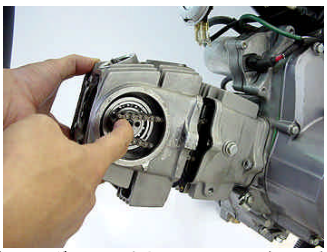
◇ヘッドカバーとシリンダーヘッド合せ面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意して下さい。



◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。

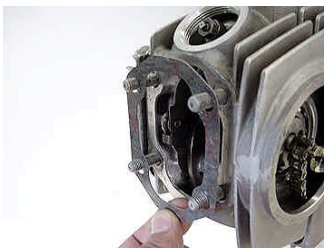


◇シリンダーにノックピンＡを２個（長さ１４ｍｍ）、ヘッドガスケット、ラバーパッキンの緑と黒を取り付けます。
＊ラバーパッキンは外れやすいので注意。

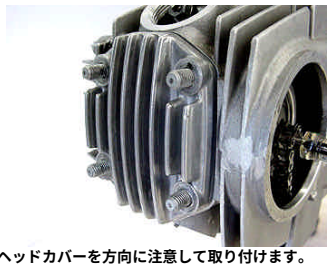


◇シリンダーヘッドをカムチェーンとスタッドボルトを通しながら取り付けます。

◇カムチェーンが落ちないようにカムシャフトにドライバー等をさしてカムチェーンを止めておきます。
◇ヘッドカバーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。

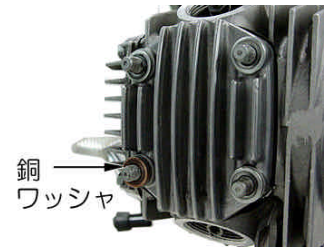


◇ヘッドカバーガスケットを取り付けます。



◇ヘッドカバーを方向に注意して取り付けます。

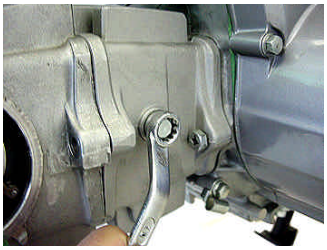
◇矢印が下を向くように取り付けます。



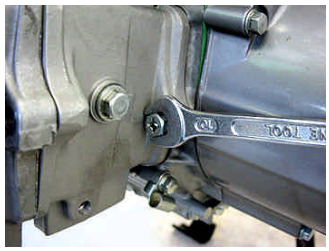
◇ヘッドカバーのワッシャーを位置に注意して取り付けます。

◇ヘッドナットを均等に締め付ける。(トルクレンチが無い場合は対角に少しずつしっかり締めます。)
使用工具　１０㎜メガネレンチ
締め付けトルク　１２Ｎ・ｍ(１．２ｋｇｆ・ｍ)

◇シリンダーヘッドサイドボルトを締め付けます。
使用工具　１０㎜スパナレンチ
締め付けトルク　１０Ｎ・ｍ(１．０ｋｇｆ・ｍ)

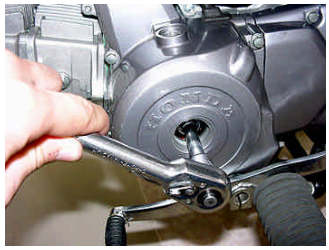


◇仮止めしていた、ガイドローラーボルトを本締めします。
使用工具　１０㎜メガネレンチ
締め付けトルク　１０Ｎ・ｍ(１．０ｋｇｆ・ｍ)

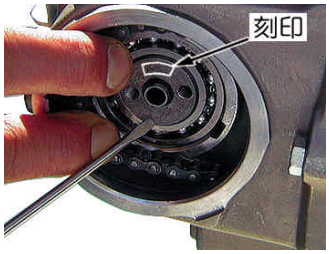


◇仮止めしていた、シリンダーサイドボルトを本締めします。
使用工具　１０㎜スパナレンチ
締め付けトルク　１０Ｎ・ｍ(１．０ｋｇｆ・ｍ)

５．カムスプロケットの取り付け

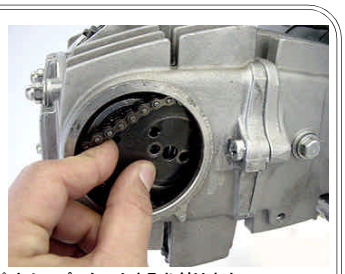


◇フライホイールを反時計方向に回し、“Ｔ”マークをケースカバーの切り欠き部に合せます。
使用工具　１４ｍｍＢＯＸレンチ
　　エクステンションバー小
　　ラチェットレンチ



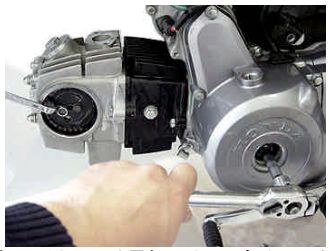
◇カムスプロケットのボルト穴をシリンダーヘッドの切り欠き方向に向け、刻印が上になるようにして下さい。それがカムシャフトの圧縮上死点です。

◇チェンジペダルシャフト横の六角ボルトを取り外します。(カムチェーンテンショナーがゆるむので、カムチェーンがはめやすくなります。)
使用工具　１０㎜スパナレンチ

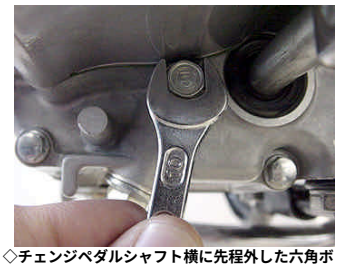


◇カムスプロケットを取り付けます。

◇カムスプロケットのボルトを手締めします。

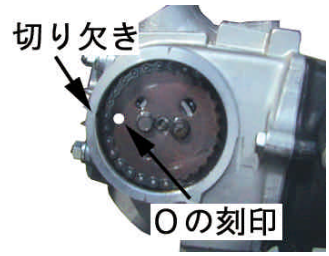


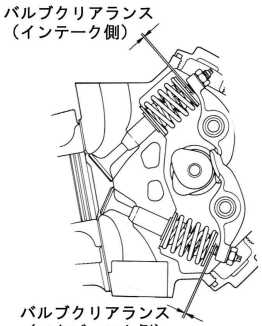
◇フライホイールを固定し、カムスプロケットボルト２本を締め付けます。
使用工具　８ｍｍメガネレンチ
　　１４ｍｍＢＯＸレンチ
　　エクステンションバー小
　　ラチェットレンチ
締め付けトルク　９Ｎ・ｍ(０．９ｋｇｆ・ｍ)

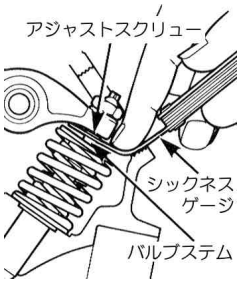


◇チェンジペダルシャフト横に先程外した六角ボルトを取り付けます。
使用工具　１０㎜スパナレンチ
締め付けトルク　１０Ｎ・ｍ(１．０ｋｇｆ・ｍ)

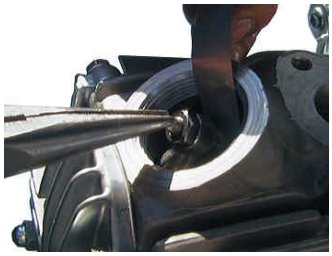
６．バルブタイミング調整とタペット調整







◇カムシャフトのOマークとフライホイールのTマークがそれぞれの切りかきに合う様にして止める。磁石の反発でフライホイールはピッタリと止まらないがカムスプロケットを取り付けてTマークとOマークが同時に合えばOK。

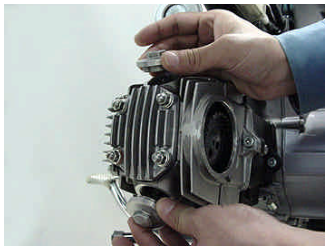


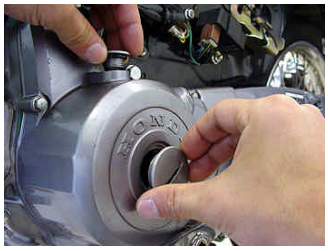
◇ロッカーアームのタペットスクリューを締め込んでいきタペットスクリューとバルブステムエンドの間に0.05ミリのシクネスゲージを入れて少し抵抗があるくらいで引き抜ける様に合わせてタペットナットを締め付ける（少し抵抗があるというのがわからない場合0.07と0.03のシックネスゲージを用意して0.07がすき間に入らず0.03がゆるゆるに入る様に合わせればだいたい0.05ミリということになる）ＩＮ．ＥＸ共に0.05ミリに合わせる。

使用工具　ラジオペンチ，９mmメガネレンチ
　　シックネスゲージ

◇タペット調整後クランクシャフトを反時計方向に２回転、回して“Ｔ”マークと“Ｏ”マークを合わせます。

◇タペットすき間が変化していないか点検し、すき間が合っていればＯＫ、くるっている場合は調整する。この作業を合うまで繰り返してください。





◇タペットホールキャップ２個とタイミングホールキャップとクランクシャフトホールキャップを取り付けます。

使用工具　１７㎜メガネレンチ
　　マイナスドライバー

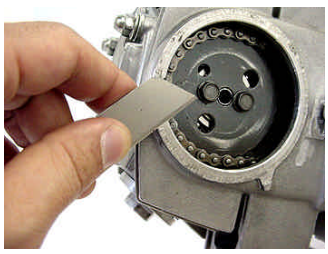
締め付けトルク

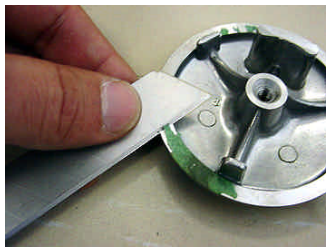
タペットホールキャップ
　　：１２Ｎ・m(１．２kgf・m)

タイミングホールキャップ
　　：　２Ｎ・m(０．２kgf・m)

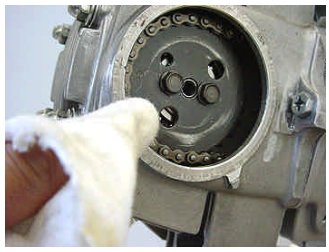
クランクシャフトホールキャップ
　　：　３Ｎ・m(０．３kgf・m)

７．シリンダーヘッド左サイドカバーの取り付け



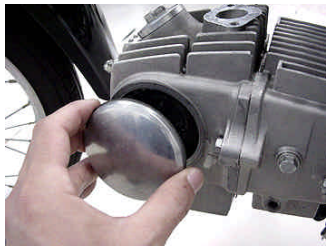


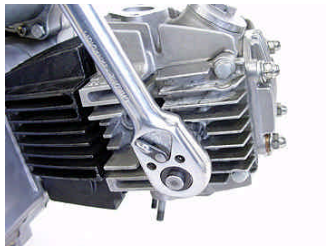
◇シリンダーヘッドと左サイドカバーの取り付け面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。



◇シリンダーヘッドと左サイドカバーの取り付け面をきれいにし、シンナー等で脱脂します。

◇ガスケットを取り付けます。





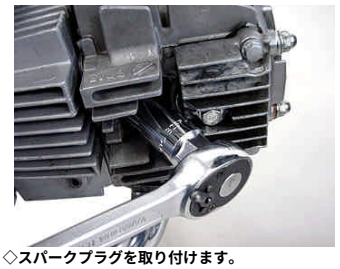
◇シリンダーヘッド左サイドカバーを取り付け、シリンダーヘッド右カバー中央のボルトを締め付けます。

使用工具　１０㎜ＢＯＸレンチ
　　ラチェットレンチ

締め付けトルク　１２Ｎ・m(１．２kgf・m)

＊このとき、シリンダーヘッド左サイドカバーの回り止めを合せて下さい。

８．スパークプラグの取り付け

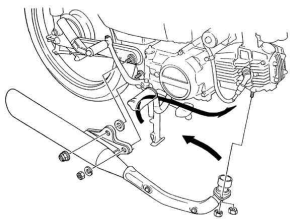


◇スパークプラグを取り付けます。
使用工具　１６mmプラグレンチ
締め付けトルク　１１Ｎ・m(１．１kgf・m)

◇プラグキャップを取り付けます。

９．ノーマルマフラーの取り付け

◎Ｃ１００ＣＭＪ、Ｃ１００ＣＭＫの場合



◇ステップとエンジンの間にマフラーを通して取り付けます。
◇シリンダーヘッド側の２個のナット、サイレンサー部の２個のナットで仮止めします。
◇仮止めを本締めします。
使用工具
シリンダーヘッド部：10㎜スパナレンチ
サイレンサー部　　：17㎜メガネレンチ
　　14㎜メガネレンチ
締め付けトルク
シリンダーヘッド側
　　：１０Ｎ・m(１．０kgf・m)
サイレンサー側10㎜ナット
　　：３４Ｎ・m(３．５kgf・m)
　　8㎜ナット
　　：２２Ｎ・m(２．２kgf・m)

◎Ｃ１００ＣＰＭの場合

◇ステップとエンジンの間からマフラーを通して取り付けます。

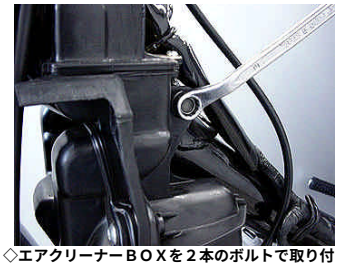
◇シリンダーヘッド側のナット２個を仮止めします。

◇右のタンデムステップブラケットと共に仮止めします。

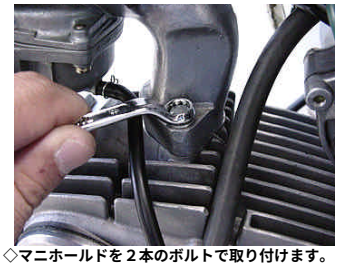
◇仮止め部を締め付けます。
使用工具
シリンダーヘッド側：１０㎜スパナレンチ
マフラー側：　１４mmＢＯＸレンチ
　　１２mmＢＯＸレンチ
　　ラチェットレンチ
締め付けトルク
シリンダーヘッド側：１０Ｎ・m(１．０kgf・m)
マフラー側：ナット：３５Ｎ・m(３．５kgf・m)
　　ボルト：２２Ｎ・m(２．２kgf・m)

１０．ノーマルキャブレターの取り付け

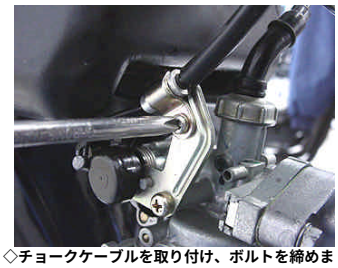
◇マニホールドにＯリングが付いているか確認します。



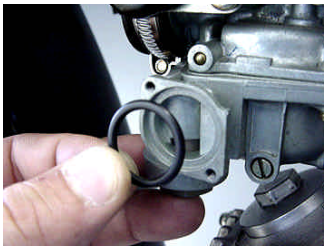
◇エアクリーナーＢＯＸを２本のボルトで取り付けます。
使用工具　１０mmメガネレンチ
締め付けトルク　１０Ｎ・m(１．０kgf・m)

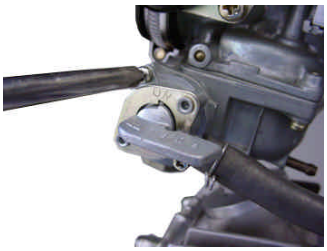


◇マニホールドを２本のボルトで取り付けます。
使用工具　１０mmメガネレンチ
締め付けトルク　１０Ｎ・m(１．０kgf・m)



◇チョークケーブルを取り付け、ボルトを締めます。
使用工具　プラスドライバー小





◇コックのＯリングを取り付け、２本のボルトで取り付けます。
使用工具　プラスドライバー小

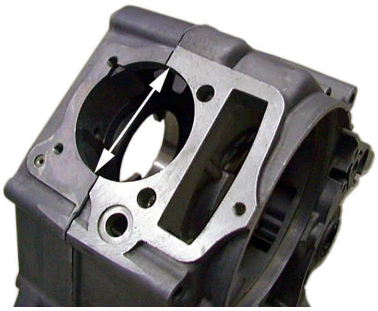
１１．カバー類の取り付け

◇カバー、左右のサイドカバーとフロントカバーを取り付けます。

クランクケースのボーリング加工

◇当社以外へクランクケースの加工をご依頼される方へ

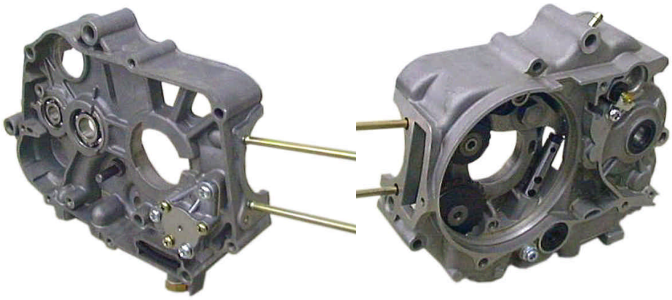
○加工寸法は、クランクケースガスケットをはさんだ状態の仕上がりでφ５５．９㎜～φ５６．１㎜になるように、当商品を合わせながら少しずつ削って下さい。
○又、ノックピン穴の肉厚は、出来るだけ確保するように注意して削って下さい。削りすぎは剛性の低下につながります。



◇当社へクランクケースの加工をご依頼される方へ

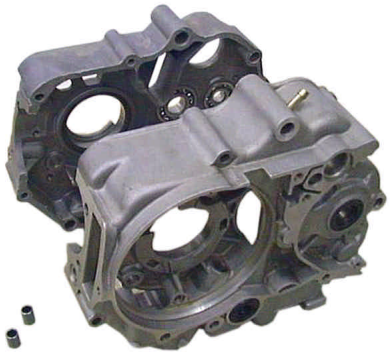
○住所、氏名、電話番号、車種、フレームナンバーを必ず明記の上、御同封下さい。
○送料はお客様負担です。
○当社取扱車種に限らせて頂きます。
○当社へご依頼される前に必ず下記作業を行って下さい。指示通りに作業が行れていない場合、未加工の上お客様負担で返品さしていただく事があります。
○尚、ランクケース加工時にケースに巣等が発見された場合、当社はその責任を負いません。

①ホンダ純正サービスマニュアルを参照し、クランクケースを分割して下さい。



②Ｒ．クランクケースに付いているスタッドボルト、ドレンボルト、オイルポンプ、オイルフィルタースクリーン、シフトリフタースプリングピンを取り外します。Ｌ．クランクケースに付いているスタッドボルト、ニュートラルスイッチコンタクト、カムチェーンガイドスプロケット、カムチェーンテンショナープッシュロッド、カムチェーンテンショナーアームを取り外します。

③スクレーパー等を用いてクラッチカバーおよびクランクケース合わせ面のガスケットをきれいに取り除いて下さい。



④クランクケースの汚れや、油分をきれいに取り除いて下さい。

⑤使用されていた１０㎜のクランクケースノックピン２個を同封の上、輸送中の破損等の防止のためクランクケースの周りをクッション性の良い物で覆ってから梱包して下さ い。

ご注意

○クランクケースを加工されますとケースの肉厚が薄くなり、強度が落ちますのでスタッドボルトの締め付けには、充分ご注意下さい。
○ご使用中におかれましても損傷する場合がございますがご了承下さい。
如何なる場合におきましても当社は一切の責任は負いません。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA
〒584-0069
大阪府富田林市錦織東３丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７
FAX ０７２１－２４－５０５９
URL http://www.takegawa.co.jp